

PTA あきた



(1)PTAあきた

2013.7.18 No.122

【発行】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中島町1番1号 秋田県生涯学習センター内
TEL(018)864-8975 FAX(018)824-7935
E-mail : pta-akita@helen.ocn.ne.jp
http://www.pta-akita.com



～みんなで育てる 秋田の子ども～



雪沢小学校(大館市)

小友小学校(由利本荘市)

仙南小学校(美郷町)

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、本会の活動に対し日ごろより、多大なるご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、『東日本大震災』から2年が過ぎ、被災地では復興が急ピッチで進められています。しかし被災地での児童生徒の教育環境は必ずしも十分とは言えず、未だに仮設校舎での学習を余儀なくされているという切ない現状があります。特に福島県内では、放射能の問題が長期化する中、多くの子どもたちが住みなれた古里を離れて生活しているという現実を見聞きする度に、「どうにかしなければ」という思いが強くなります。被災地に住むあるPTA会長がこう言っていました。「子どもたちの笑顔で救われている。大人だって泣きたいときがあるのに、子どもたちは親に心配かけまいとそんな素振りもみせない。これからどうなるんだろうという不安な気持ちは子どもたちだっていっしょのはずだ」と。

私たちは、震災の記憶を風化させることなく、次の世代へ語り継ぐことはもちろん、将来にわたって、子どもたちが安心して生活できる環境や社会を構築する責任があると思います。公益社団法人『日本PTA全国協議会』で行っている「心のきずな61キャンペーン」や、本会が独自に行っている「秋田県PTAフェスティバル」など復興支援事業は、今後ともみなさまにご理解とご協力をいただき強力に推進してまいります。

ところで、昨今、いじめや体罰がにわかに顕在化し全国で問題となっています。県教育庁の調査によると、県内でも他と比べ、数は多くはないもののその実体が垣間見えます。いじめや体罰、特にパワーハラスメントに見られるような立場の上下が原因となる事例では、子どもたちの成長過程や人格形成にも少なからず影響を与えます。将来、

子どもたちが大人になったときに成長過程での体験した、いじめや体罰のような行為が「是」として繰り返されることのないよう、私たちは細心の心配りをもって子どもたちに接することが必要です。少年期の心の問題はその後の人生でも大きく影響すると言われています。

どうぞ子どもたちが健全に育ち、大きな夢をもって成長することができますよう皆様のご支援をお願い申し上げます。

また、日々変化し続けるインターネット上において、子どもたちが犯罪被害に巻き込まれるケースも増えています。ネットは仮想空間であり、実体験に乏しい子どもたちがバーチャルとして、あたかも体験したかのような錯覚に陥ることもあります。ネットの利便性は私たちの生活を大きく変えましたが、一方で、ネットの脆弱性も指摘されていることは、皆様ご存知のとおりです。子どもたちにネットを使わないようにというのは、今の社会では現実的ではありません。しかし、子どもたちがネットを使った犯罪に巻き込まれないように防衛する「術」を教えることはできると思います。私たちが研修会等を通じてネット環境について勉強することで、ネット犯罪から子どもたちを守ることができるようにするのも大人の役目です。

最後に、今年の秋田県大会は能代市での開催となります。どうぞ多くの会員の皆さんが能代の地に集まり、子どもや教育について熱く語っていただく機会となれば幸いです。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

結びに、「愛してやまない子どもたちのために」、一つになって、活発なPTA活動をすることを、皆様とともに改めてお誓い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。



秋田県PTA連合会
会長 加藤 寿一

平成25年6月1日

平成25年度 新副会長のご紹介

いま、しか出来ないこと

秋田県PTA連合会 副会長 小田切 孝幸
[かづのPTA連合会会長]



二人の子どもがいる我が家では、上の子が高校生で、親の目からみても学校生活を楽しんでいるように見える。良いことなのだが、日々の生活のなかで、親と子どもの意識の違いから、叱りつける場面もしばしばで、特に生活習慣については一向に改善されていないと、親の心が焦っている始末です。

そんな思いをよそに、子どもたちはあと数年で次の進路へ向け親元を離れていく。学校に通う12年間、子どもに関わるこの年月はわずかな期間だと思っているだけに、できるだけ多くのことを見ておきたいと思っています。

PTA活動も同じで、子どもがいるうちしか出来ない、と考えたら、新しい親同士の横のつながりがたくさんできました。どの年代であっても、新たな友人や知り合いができるのは楽しいことです。最初、面倒かと思ったPTA活動も意外と楽しいもんだ、というのが私の実感。だから、多くの親御さんに参加してほしいと思っています。

輪を広げPTA活動を楽しみましょう。

Let's Enjoy PTA!!

秋田県PTA連合会 副会長 田口 寿宜
[仙北市PTA連合会会長]



PTA活動に携わり、今年度で8年目を迎えました。保護者の皆様はじめ先生方や地域の方々と共に、オラだの学校を盛り上げて行こう！と楽しく活動しております。

子どもを通じて出会った皆さんと一緒に活動する事って素敵な事ですよね。子ども達のたくさん笑顔が溢れ、元気に安全・安心に過ごせるよう、皆さんと思いを共有しながら活動できる事に感謝の気持ちでいっぱいです。

義務感を持ってPTA活動に参加すると、嫌気が差し疲れるだけです。難しく考えると、難しいPTAになってしまい楽しさも半減してしまいます。肩肘張らずに、ごくごく自然に会員同士サポートし合いながら身の丈に合った活動をして行く事で、充実した活動が出来るものと考えます。

保護者と先生が集うPTA、褒める時は褒め、叱る時は叱り、子ども達の成長に向け共に手を携えながら各種活動に取り組んでいきたいと思えます。さあ皆さん、Let's Enjoy PTA!! 1年間宜しくお願いします。

「校歌」と「鳥海登山」

秋田県PTA連合会 副会長 佐々木 譲
[にかほ市PTA連合会会長]



にかほ市立上郷小学校は、旧象潟町の標高約180m、鳥海山の裾野に広がる田園地帯の中に校舎があります。全校生徒が78人と決して大きな学校ではありませんが、大自然の中で育つ子どもたちは、素直で優しくとても元気です。

我が、上郷小学校の「校歌」についてお話ししておきます。校歌は3番までありますが、小学校の校歌にしては珍しく、2番のみ全く違う曲調なのです。私自身も同校の卒業生で、当時は特に気にせず歌っていたと思うのですが、大人になってから聴いてみると、なかなか難しい校歌だったのだと感じました。それでも、新しく入った一年生も今ではちゃんと覚えて歌っています。やはり子どもは素晴らしい、素直に受け入れて順応していくのですね。お聴かせできないのが残念ですが、機会があればお聞かせしたいと思います。

毎年の学校行事に「鳥海登山」があります。我が校ならではの行事で、1年生から6年生まで同じ高さのところまで登るのです。1年生の中には、半ペンをかきながらやっとの思いで登る子もいます。それより一緒に登った親たちがかなり辛そうにしています。それでも、登った後の達成感は素晴らしいものがあります。

晴れた日に、学校の校舎から見る鳥海山は素晴らしく雄大です。そこに山があるから登るのです。反対に、雨が降ってこないかなと思っている自分がいます。

今できること

秋田県PTA連合会 副会長 野崎 一
[秋田市PTA連合会副会長]



毎朝、子どもらのドタバタで一日が始まる。そして「ああ、俺もこうだったなあ」と思う。性別こそ違おうが、やはりこの家の子である。我が家のDNAを感じる時間だ。

自分は鼻真目に見ても、手本になれるような親ではない。だからせめて自分がしてやれることを考える。信頼する、常に味方である、抱きしめる、一緒に泣く、一緒に笑う、それだけを心掛けている。4年前、PTAに誘われた時、不安とは別に、この場所にいればもっと敏感に子どものその時を感じられるな...と思ったことを覚えている。

ありがたくも頼もしい仲間恵まれ、自分自身かけがえのない経験をさせてもらっている。緊張しいで、挨拶などは相変わらずド下手だが、この貴重な経験は自分の成長にもつながっていると思う。

誰もが忙しい時代だ。ただその中でこの活動を、時間を遣り繰りし、汗を流してやってきた先輩方は口々にこう言う。「もっと早くからやっていればよかった...」と。私もそう思う今日この頃だ。



平成25年度 秋田県PTA連合会

表彰一覧

(所属名)敬称略

団体

- 鹿角市立花輪第一中学校PTA
- 大館市立山瀬小学校PTA
- 男鹿市立潟西中学校PTA
- 由利本荘市立矢島小学校PTA
- にかほ市立象潟中学校PTA
- 仙北市立松木内中学校PTA
- 横手市立大森小学校PTA
- 羽後町立三輪中学校PTA

個人

- 高橋 寛志 (小坂小)
- 工藤 譲 (有浦小)
- 長井 直人 (上小阿仁小中)
- 藤田 司 (二ツ井中)
- 菅原 幸一 (能代南中)
- 佐藤 誠 (八郎潟小)
- 波部 啓温 (男鹿東中)

- 佐藤 公之 (山王中)
- 藤田 信 (明德小)
- 星 章夫 (勝平中)
- 佐藤 明 (御野場中)
- 石井 直人 (飯島南小)
- 尾坂 一彦 (種平小)
- 小林 祥子 (子吉小)

- 中嶋 恵美子 (仁賀保中)
- 齊藤 亘 (平和中)
- 藤村 富美也 (神代小)
- 山本 啓彦 (角館中)
- 小西 正一郎 (六郷小)
- 小貫 由美子 (美郷中)
- 齋藤 伸二 (十文字第一小)



新役員紹介

平成25年度 秋田県PTA連合会役員

会長	加藤 寿一	秋田/勝平中
副会長	小田切 孝幸	かづの/花輪第二中
同	田口 寿宜	仙北/生保内小
同	佐々木 譲	にかほ/上郷小
同	野崎 一	秋田/勝平小
参与	伊藤 栄二	県小学校長会長/旭北小
同	長澤 公生	県中学校長会長/下北手中
監事	畠山 佑介	かづの/十和田中
同	石澤 美沙子	にかほ/象潟小
同	阿部 義昭	仙北/西明寺小
委員	伊勢 博文	大館北秋田/合川北小
同	松井 均	能代山本/能代第二中
同	渡部 隆彦	潟上南秋田/五城目小
同	松野 美智子	男鹿/男鹿南中
同	石川 隆志	由利本荘/本荘北中
同	齋藤 靖	大仙/大曲中
同	佐々木 竜孝	美郷/美郷中
同	高橋 和宏	横手/山内小
同	備前 博和	湯沢雄勝/東成瀬中
幹事	栗山 尚記	かづの/花輪小
同	安藤 昌益	大館北秋田/大館南中
同	佐藤 幸樹	能代山本/東雲中
同	佐々木 丈	潟上南秋田/五城目小
同	尾崎 茂	男鹿/野石小
同	畠山 周	秋田/金足西小
同	小林 祥子	由利本荘/子吉小
同	加藤 英明	にかほ/象潟中
同	嵯峨 康弘	大仙/大曲中
同	新山 仁	仙北/角館小
同	加藤 克衛	美郷/仙南小
同	高橋 勝	横手/山内中
同	伊藤 真一	湯沢雄勝/須川小

平成25年度 秋田県PTA安全互助会役員

会長	加藤 寿一	秋田/勝平中
----	-------	--------

[以下副会長 参与 幹事 理事(委員)は県PTA連合会役員と同じ]

平成25年度 都市PTA連合会事務局

かづの	佐藤 嘉弘	花輪第二中
大館北秋田	佐藤 洋子	合川北小
能代山本	金子 多鶴子	能代第二中
潟上南秋田	若狭 弘子	五城目小
男鹿	合田 マキ子	船川第一小
秋田	野崎 一	勝平小
由利本荘	打矢 之	新山小
にかほ	茂野 由紀子	上郷小
大仙	嵯峨 康弘	大曲中
仙北	浦山 英一郎	生保内小
美郷	島田 誠	美郷中
横手	酒井 浩	山内小
湯沢雄勝	佐藤 寿春	東成瀬中

レポート

平成25年度 会長会議から
(平成25年6月29日)

テーマ

『しあわせの国 ブータン』

講師:岩手大学社会科学部准教授 西田文信氏

ブータンと日本は、平成23年に国交樹立25周年を迎えた。また秋田県とは、100年前に初めてブータンを訪れた日本人多田等観が秋田市土崎の西船寺出身という深い縁がある。そして東日本大震災の時は、翌日追悼の会を開き、100万ドルの支援金を日本へ送り、国王夫妻は後日来日して福島を訪れた。



ブータンは国民総幸福量(GNH)という独自の考え方を国家の指標として打ち出し、国民の95%が幸福と感じていて、世界中から注目を集めている。指標は9つある。

- 心理的な幸福 ●国民の健康 ●教育 ●文化の多様性
- 地域の活力 ●環境の多様性と活力 ●時間の使い方
- 生活水準の向上 ●良き統治

仏教の精神に基づく「平和的共生」―「他の人と違って良い」「よそはよそ、うちはおうち」というポジティブ感を国民が持っている。何よりも家族と信仰の時間を大切に。心理的な幸福が一番大切である。

ワークショップ

『SNSサイトを体験しよう』

～利用のポイントと家庭でのルールづくり～

講師:(株)ディー・エヌ・エー マーケティング本部
カスタマーサービス部部长 西 雅彦氏

今年度より、県とPTA団体・民間等が協働で取り組む「大人が支える！インターネットセキュリティの推進」の一環として、子どもたちによるインターネットの健全利用について考える目的で



研修を実施しました。参加者は、実機を操作を通して、次の内容について学びました。

1. SNSサイトの概要とその健全化に向けた取り組みについて

2. トラブルの事例

- ①誹謗中傷 ②荒らし行為 ③個人情報の投稿 ④サイト外のトラブル

3. 子どもたちが利用するサービスについて(実機体験)

- ①ゲームサイト ②SNS ③無料通話

4. SNSの利用マナー

- ①他人の悪口や嘘を書かない。②名前・住所・電話番号・メールアドレス等の個人情報を公開しない。③ネットの外では人に会わない。

5. 家庭でのルールづくりについて

- ①利用料金の上限を決める。②フィルタリングを利用する。③ネットやメール等の利用時間を決める。④子どものケータイの利用用途を知る。⑤定期的に子どものケータイ利用について親子で話し合う。

■SNS(Social Networking Service)

ブログ、つぶやき、日記、掲示板、ゲームなどのWEB機能サービスの総称。

■(株)ディー・エヌ・エーは今回のような研修機会等を無料で提供している。

秋田県PTA

安全互助会から

児童生徒の傷害事故 **1,612件**

■ 態様	
スポーツ活動中	545
遊戯中	423
他スポーツ中	209
自転車事故	170
日常生活	158
登下校中	107
(うち交通事故)	(38)

ケガの内容 **1,612件**

■ 態様	
骨折	825
捻挫	237
打撲	231
切傷	224
眼・歯等	53
やけど	39
その他	3

PTA会員の傷害事故 **39件**

■ P T A 行事	
バレーボール	26
運動会・親子レク	8
野 球	2
奉 仕 活 動	2
参観・役員会	1

賠償事故 **65件**

■ 児童・生徒 / 賠償内容	
車の破損	23
ガラスの破損	20
眼鏡を壊す	15
人にけがをさせる	4
その他の物損	3

PTA安全互助会 保険請求の流れ

- ①事故発生
- ②学校へ連絡
- ③事故発生通知書作成
- ④安全互助会へ送付
- ⑤完治後、学校証明印
- ⑥保険会社へ送付
- ⑦保険金の振り込み
- ⑧支払い手続き終了



平成25年度 広報紙コンクール入賞校 を紹介します。

■ 小学校の部

- 勝平小学校PTA
- 秋大教育文化学部附属小学校PTA
- 港北小学校PTA
- 飯島南小学校PTA
- 金足西小学校PTA
- 岩見三内小学校PTA

■ 中学校の部

- 勝平中学校PTA
- 城南中学校PTA
- 秋大教育文化学部附属中学校PTA
- 秋田北中学校PTA

大人が支える！ インターネットセーフティの推進

事務局 秋田県教育庁生涯学習課

スマートフォン等の普及により、子どもたちを取り巻くインターネット環境は大きく変わり、「ネットいじめ」や犯罪等、様々なトラブルに巻き込まれる危険性が問題となっています。一方、多くの保護者はこうしたネット機器やサービスになじみがなく、その便利さや怖さに対応できず、子どもとの向き合い方に自信がもてない状況にあります。そこで、秋田県教育委員会では、新規の取組として、保護者等を対象に、子どもたちの健全なインターネット利用環境づくりを進めます。この取組は、PTA団体はもちろん、民間による専門家会議「子どもたちのインターネット利用について考える研究会」(座長：お茶の水女子大学教授 坂元章)との協働が大きな特徴です。

■ 取組方策

- ① インターネットセーフティ推進委員会の開催
- ② 家庭教育フォーラム(10月19日開催予定)等で啓発促進
- ③ 「保護者に直接届く」教育啓発コンテンツの開発・提供
- ④ 保護者や教員等の依頼に応じて県庁出前講座を実施
- ⑤ 「ネットに少し詳しい」地域サポーターの養成

携帯電話からも会員登録OK!ますます便利に!

えきねっと

会員募集中

www.eki-net.com

くわしくは「えきねっと」ホームページをご覧ください

会員登録
無料

「えきねっと」なら
パソコンや携帯電話で
きっぷの申し込みが
できてとっても便利



「えきねっと」なら
乗車日の1ヵ月+1週間前に
指定席の事前購入登録ができます。

※但し、携帯電話からのご予約は乗車日の1ヵ月前(午前10時)からとなります。
※指定席券売機で購入できます。



日新火災



お客さまひとりひとりと、
顔の見えるおつきあい。

日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう「顔の見えるおつきあい」で、
お客さまのご期待にお応えしたいと考えています。

お客さまに最も身近で誠実な損保を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社

日新火災海上保険株式会社

秋田サービス支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2-4F TEL.018-837-5255